

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【公開番号】特開 2020-690 (P2020-690A)

【公開日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-001

【出願番号】特願 2018-125067 (P2018-125067)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 25 日 (2021.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件が成立することに基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機において、

所定の遊技領域が形成される遊技盤と、

前記遊技盤に設けられ、遊技機前方側から視認可能な所定の装飾部を発光装飾する発光部と、

前記発光部とは別の別発光部と、

所定の不正行為を検出する不正検出部と、

前記発光部の発光態様および前記別発光部の発光態様を制御する発光制御手段と、

所定の光量調整操作に基づいて、光量を調整可能な光量調整手段と、

遊技機の後方に膨出する後方膨出部に設けられる透光部と、を備え、

前記透光部は、前記発光部が発光しているときに、該発光部から発せられる光を透光するように設けられており、

前記発光部は、通常の状態であるときには前記光量調整操作に基づく光量の変化が可能であるが、前記不正検出部により所定の不正が検出された特定状態と判断されると、前記光量調整操作に基づく光量の変化が不能になり、

前記別発光部は、前記特定状態と判断されるか否かにかかわらず前記光量調整操作に基づく光量の変化が不能であり、

前記発光制御手段は、前記特定状態と判断された場合に、前記発光部の発光態様を変更するものであって、

少なくとも前記特定状態にあるときに、前記発光部と前記別発光部のうちの前記発光部から発せられる光を、前記透光部から透光させるものであり、

さらに、前記発光部は、複数の発光体で構成され、

前記特定状態と判断された場合には、前記複数の発光体が予め定められた特定の態様に制御される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明は、

所定の始動条件が成立することに基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機において、

所定の遊技領域が形成される遊技盤と、

前記遊技盤に設けられ、遊技機前方側から視認可能な所定の装飾部を発光装飾する発光部と、

前記発光部とは別の別発光部と、

所定の不正行為を検出する不正検出部と、

前記発光部の発光態様および前記別発光部の発光態様を制御する発光制御手段と、

所定の光量調整操作に基づいて、光量を調整可能な光量調整手段と、

遊技機の後方に膨出する後方膨出部に設けられる透光部と、を備え、

前記透光部は、前記発光部が発光しているときに、該発光部から発せられる光を透光するように設けられており、

前記発光部は、通常の状態であるときには前記光量調整操作に基づく光量の変化が可能であるが、前記不正検出部により所定の不正が検出された特定状態と判断されると、前記光量調整操作に基づく光量の変化が不能になり、

前記別発光部は、前記特定状態と判断されるか否かにかかわらず前記光量調整操作に基づく光量の変化が不能であり、

前記発光制御手段は、前記特定状態と判断された場合に、前記発光部の発光態様を変更するものであって、

少なくとも前記特定状態にあるときに、前記発光部と前記別発光部のうちの前記発光部から発せられる光を、前記透光部から透光させるものであり、

さらに、前記発光部は、複数の発光体で構成され、

前記特定状態と判断された場合には、前記複数の発光体が予め定められた特定の態様に制御される

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】